記 者 発 表 資 料

平成２２年４月２日

遠賀川河川事務所

平成22年度　遠賀川河川事務所
主要事業について

遠賀川河川事務所では、平成21年7月の中国・九州北部豪雨を受け、現在実施中の小竹地区（小竹町）及び支川犬鳴川本城地区（宮若市）の改修事業を継続するとともに、平成15年7月出水にて被災を受けた太郎丸地区（飯塚市）の内水対策事業を継続します。

また、平成21年度より遠賀川特定構造物改築事業として着手した中間堰の本体工事に着手し、仮設工事を実施します。

【投げ込み】　○直方記者クラブ　○飯塚地区　○田川記者クラブ　○北九州記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省　九州地方整備局　遠賀川河川事務所
TEL　：　0949－22－1830（代表）

技術副所長　　深町　（内線204）

遠賀川河川事務所の概要

遠賀川河川事務所は、安全で安心した暮らしを守るために、近年頻発している洪水被害（平成１３年、１５年、２１年）を軽減する事業を強力に推進するとともに、遠賀川河口堰や堤防・樋管等の河川管理施設の維持管理・修繕及び遠賀川の水質改善や河川環境の保全を図る河川環境整備等を実施します。

なお、整備にあたっては、地域住民の方々の意見等を聞きながら、地域と一体となった河川事業を実施します。

平成22年度事業概要

（単位：百万円）

予算区分	平成22年度 当初	概要
河川改修費	806	河道掘削及び築堤整備等を実施
特定構造物改築事業 （中間堰）	971	中間堰の改築
河川工作物関連応急対策復旧費	135	老朽樋管の応急的対策の実施
総合水系環境整備事業費	361	河川環境保全のための整備を実施
計	2,273	

※本表は、業務取扱費を除いています。

※この他に、河川維持修繕費及び堰堤維持費があります。

遠賀川河川事務所における平成22年度の主要事業について

平成22年度主要継続事業

① 平成21年7月中国・九州北部豪雨対応として、犬鳴川本城地区の河川改修事業を促進します。

② 平成21年7月中国・九州北部豪雨対応として、本川小竹地区の河川改修事業を促進します。

③ 平成21年度に着手した、遠賀川特定構造物改築事業（中間堰）の事業促進を図ります。

④ 平成21年度に着手した、穂波川太郎丸地区の内水対策事業の事業促進を図ります。

⑤ 平成16年度に着手した、総合水系環境整備事業（中島自然再生事業）の事業促進を図ります。

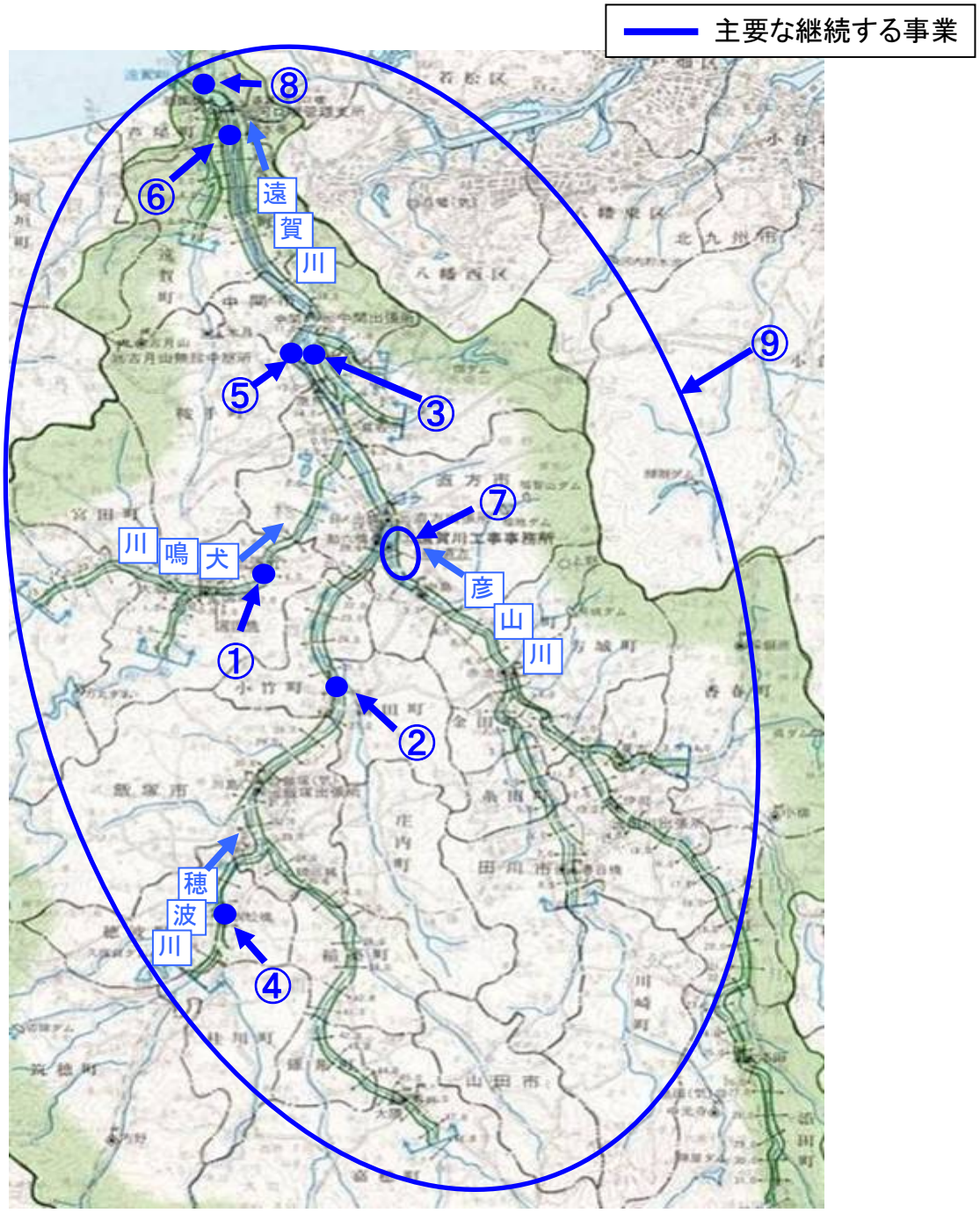
⑥ 平成20年度に着手した、総合水系環境整備事業（遠賀川河口堰魚道改良）の事業促進を図ります。

⑦ 平成21年度に着手した、総合水系環境整備事業（遠賀川水系エコロジカルネットワーク再生事業）の事業促進を図ります。

⑧ 平成21年度に着手した、総合水系環境整備事業（芦屋地区水辺整備事業）の事業促進を図ります。

⑨ 堤防・河川管理施設の維持・修繕及び老朽化した、樋管等の適切な更新を図るため、河川維持、河川管理施設更新、河川工作物関連応急対策事業を継続実施します。

遠賀川河川事務所における平成22年度主要事業について（位置図）



①本城地区改修事業
②小竹地区改修事業
③遠賀川特定構造物改築事業【中間堰】
④太郎丸地区改修事業
⑤総合水系環境整備事業【中島自然再生事業】
⑥総合水系環境整備事業【遠賀川河口堰魚道改良】
⑦総合水系環境整備事業【遠賀川水系エコロジカルネットワーク再生事業】
⑧総合水系環境整備事業【芦屋地区水辺整備事業】
⑨河川維持修繕・河川工作物関連応急対策事業

【主要事業①】

宮若市本城（ほんじょう）地区の河道掘削を実施します

～平成21年7月洪水を安全に流下させ、浸水被害を軽減します～

１．事業目的及び事業効果

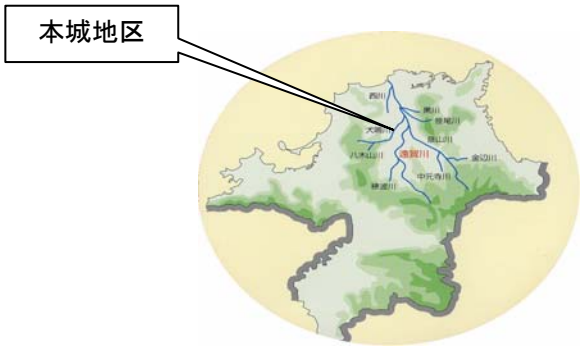
平成２１年７月、九州北部を襲った豪雨の影響により遠賀川水系犬鳴川では宮田橋水位観測所において、既往最高水位を記録し、宮若市及び直方市において浸水被害が発生しました。

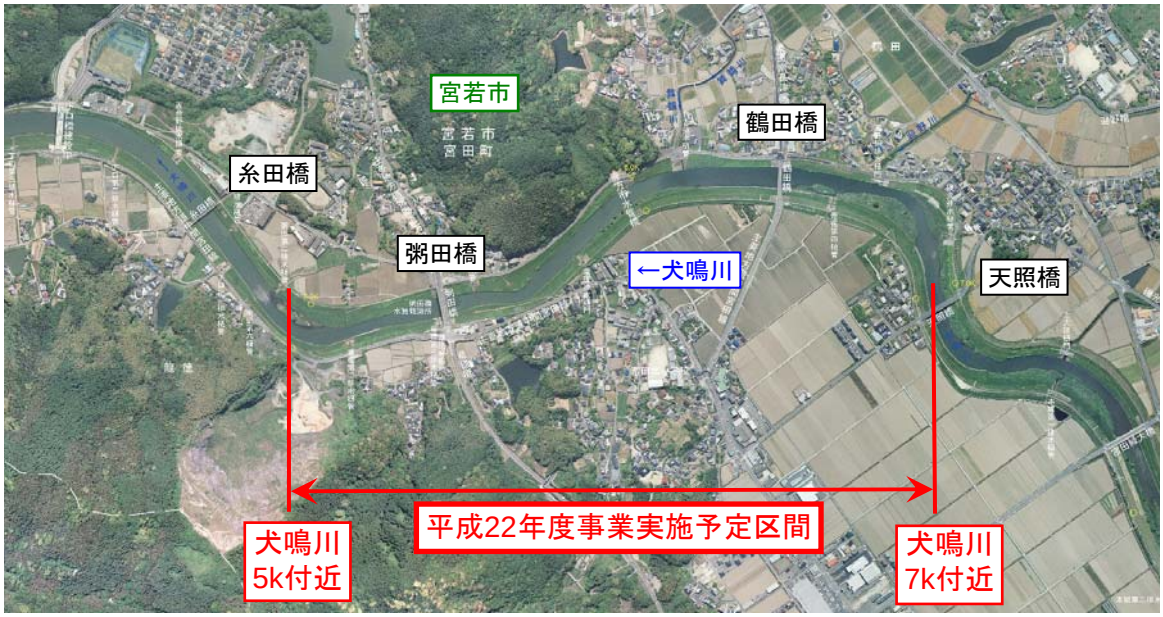
このような洪水を安全に流下させ、浸水被害を軽減するため、犬鳴川の河道掘削を実施します。

２．事業概要

■事業箇所　：　福岡県宮若市（本城地区）
■事業期間　：　平成２１年度～
■平成２２年度事業費　：　約２．９億円
■平成２２年度実施内容　：　河道掘削等

３．位置図等





【主要事業②】

小竹（こたけ）町小竹地区の築堤整備を実施します

～堤防高の低い一連区間を整備し、治水安全度の向上を図ります～

１．事業目的及び事業効果

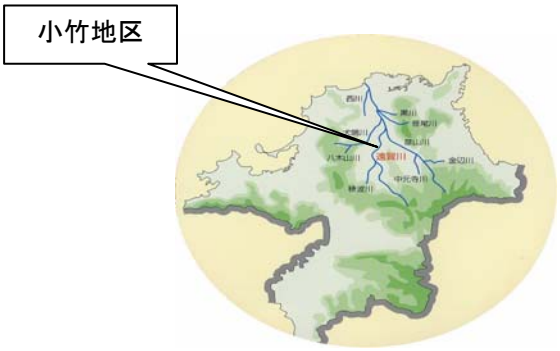
遠賀川の小竹地区では、平成２１年７月の九州北部豪雨により、ＪＲ、工業団地及び町立病院周辺道路が冠水し、アクセス道路が遮断されるなどの浸水被害が生じました。

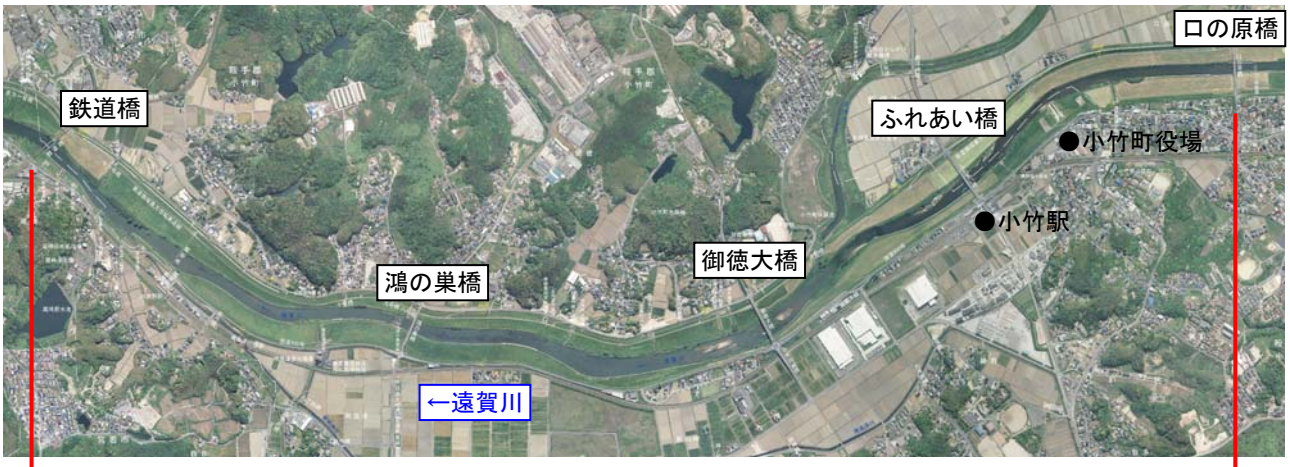
当該地区は、堤防天端から約６０ｃｍ下を洪水が流下するなど、必要な堤防の高さが不足する区間であるため、一連区間の築堤整備を行い、頻発する豪雨災害に備えます。

２．事業概要

■事業箇所　：　福岡県鞍手郡小竹町（小竹地区）
■事業期間　：　平成２１年度～
■平成２２年度事業費　：　約２．６億円
■平成２２年度実施内容　：　築堤整備等

３．位置図等





事業実施対象区間

遠賀川左岸
21k付近

遠賀川左岸
26k500付近

【主要事業③】

遠賀川特定構造物改築事業【中間堰】

～堰改築による治水安全度の向上～

１．事業目的及び事業効果

遠賀川１１ｋ３００付近に位置する新日鐵用水堰は、工業用水等を取水することを目的として昭和４年に設置された堰であり、周辺には市街地が広がっています。

当該堰付近は河床が高く洪水の安全な流下を阻害する要因となっていることから、河道拡幅とそれに伴う堰改築を行い、河道断面を確保して、洪水時の水位を低下させることで被害の軽減を図ります。

なお、本事業は、新日本製鐵（株）との共同事業として行うものです。

２．事業概要

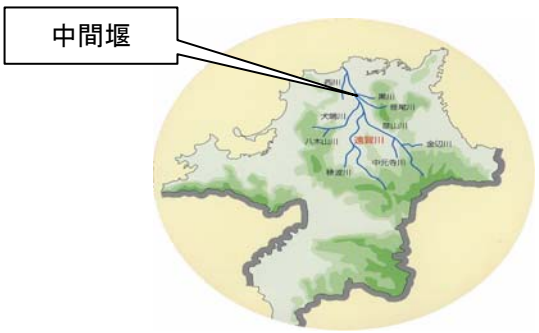
■事業箇所　：　福岡県中間市

■事業期間　：　平成２１年度～

■平成２２年度事業費　：　約９．７億円

■平成２２年度実施内容　：　仮設工事等

３．位置図等



【主要事業④】

飯塚市太郎丸（たろうまる）地区の内水対策を実施します

～H15.7洪水対策として、排水機場の増強により浸水被害の軽減を図ります～

１．事業目的及び事業効果

遠賀川の飯塚・穂波地区では、平成１５年７月の集中豪雨により、飯塚市、旧穂波町の中心市街部で約２千戸を超える家屋浸水被害が発生しました。平成２１年７月の豪雨でも当地区の一部で浸水被害が発生しています。

平成２２年度もこれまでの事業に引き続き、太郎丸地区における排水機場の増強等を行い、当地区での床上浸水家屋被害の大幅な軽減を図ります。

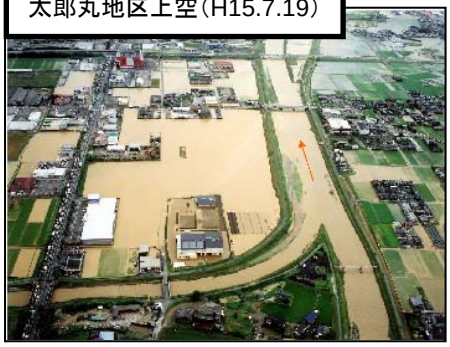
２．事業概要

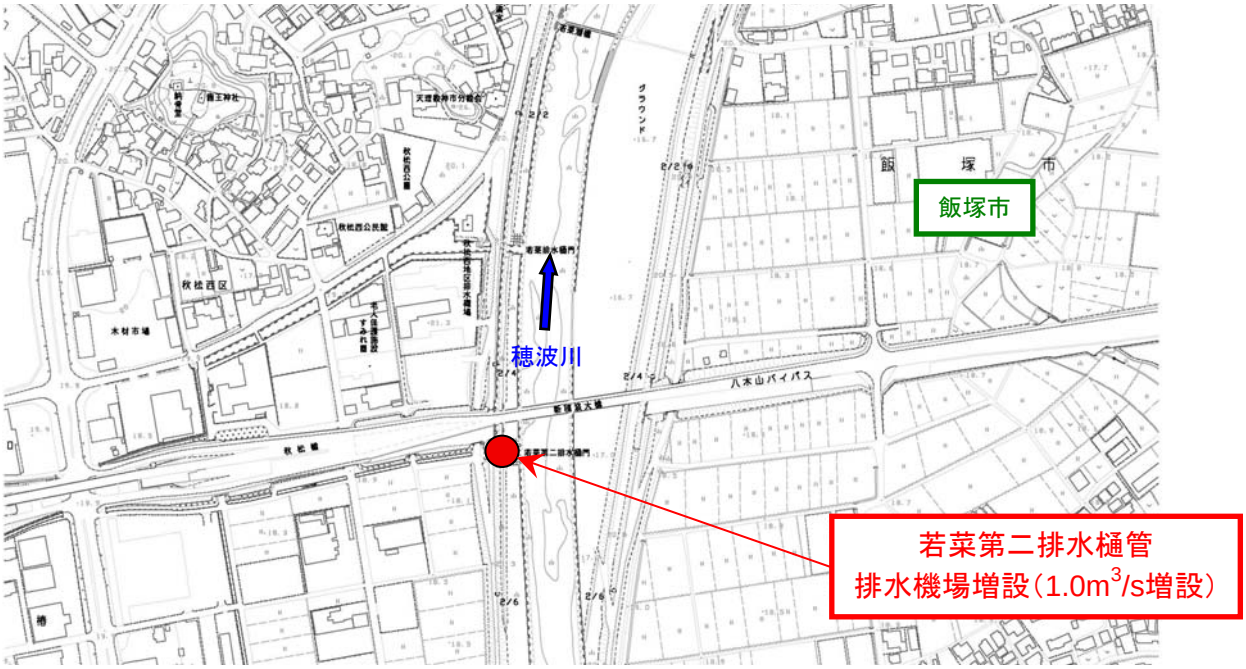
■事業箇所　：　福岡県飯塚市（太郎丸地区）
■事業期間　：　平成２１年度～
■事業内容　：　排水機場　１．０ m^3/s増設
■平成２２年度事業費　：　約０．２億円
■平成２２年度実施内容　：　若菜第二排水樋管排水機場に係わる用地費

３．位置図等

太郎丸地区（H15.7.19）

太郎丸地区上空（H15.7.19）





【主要事業⑤】

総合水系環境整備事業【中島（なかしま）自然再生事業】

～流域や河川の多様な景観を復元・創出し、自然と人々のふれあいを育む遠賀未来の川づくり～

１．事業目的及び事業効果

遠賀川中流部では、流域の土地利用の変化や河川改修により、もともと河川や河川周辺にあった湿地（川の中のたまりや池など）が失われてきました。

また、河川改修が進み、川岸にコンクリート護岸が設置されたことにより、水際は単調となり、様々な生物が棲む空間が減少し、生物の多様性が低下してきました。

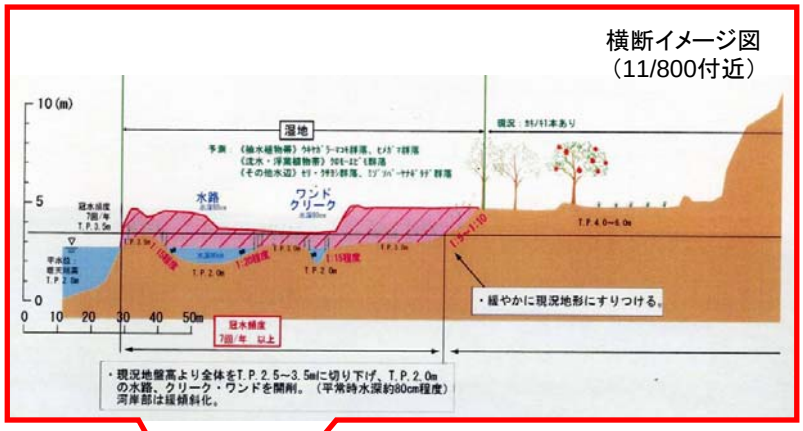
そこで、流域や河川で失われた湿地を創出し、多様な生物が生息する河川環境を再生することを目的に、ヨシ原が減少し、外来植物の繁殖が進んでいる中間市付近の中島において、掘削による湿地の再生及びヨシ原の保全を行い、次世代に引き継ぐ未来の遠賀川の川づくりを行います。

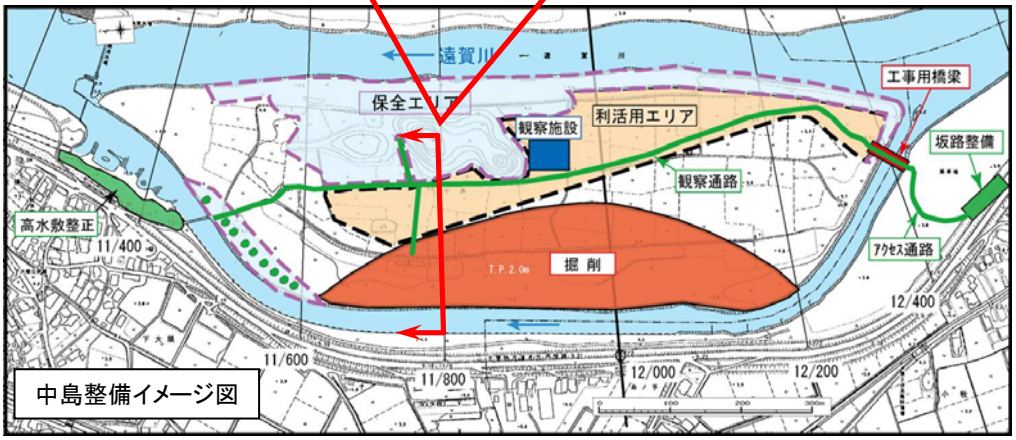
２．事業概要

■事業箇所　：　福岡県中間市（中島地区）
■事業期間　：　平成１６年度～
■事業内容　：　中島掘削による湿地の創出
■平成２２年度事業費　：　約０．４億円
■平成２２年度実施内容　：　土砂掘削（湿地域の形成）

３．位置図等

遠賀川の流域図





中島整備イメージ図

【主要事業⑥】

総合水系環境整備事業【遠賀川河口堰魚道改良】

～魚道の改良・新設を行い、遠賀川水系全体の魚類の多様性回復を図ります～

１．事業目的及び事業効果

遠賀川河口堰の魚道は、遠賀川水系最下流に位置し、魚類の遡上や降下の出入口として、水系全体の魚類等の生息・生育環境の起点となる重要な魚道であるため、魚道機能の向上が望まれていました。

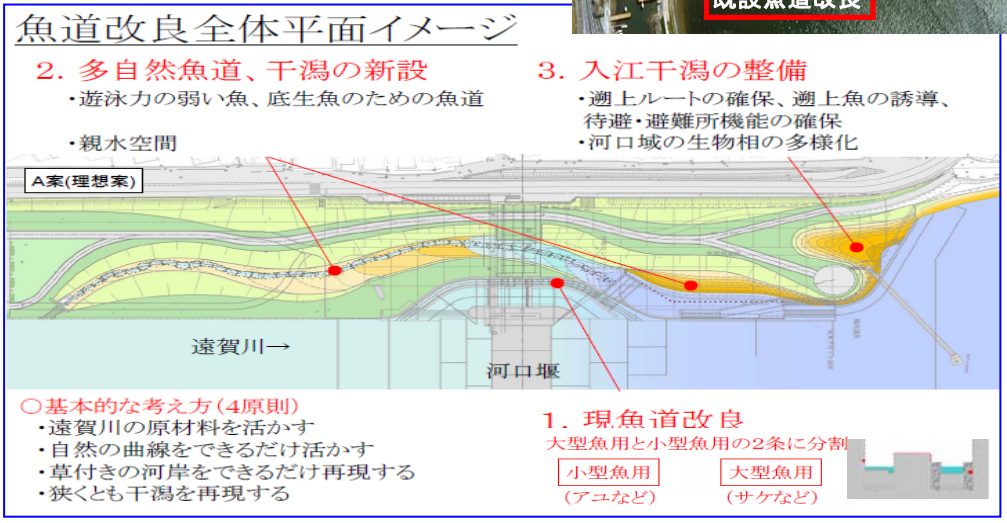
そこで、既設魚道改良と新たな魚道の整備を行い、魚道機能を向上することにより、遠賀川水系の魚類等の多様性（サケの遡上等）の回復を図ります。

２．事業概要

■事業箇所　：　福岡県遠賀郡芦屋町（遠賀川河口堰）
■事業期間　：　平成２０年度～
■事業内容　：　魚道改良・新設
■平成２２年度事業費　：　約１．５億円
■平成２２年度実施内容　：　多自然魚道新設工事
　　魚道ゲート操作システム設計

３．位置図等

堰下流側イメージ



【主要事業⑦】

総合水系環境整備事業【遠賀川水系エコロジカルネットワーク再生事業】

～生物の生息・生育環境の改善を図ります～

１．事業目的及び事業効果

遠賀川河川事務所では平成６年より「魚がのぼりやすい川づくり推進モデル事業」の一環として、堰等に魚道を取り付けるなどの対策を行ってきた結果、近年ではサケやアユといった種の回遊魚が上流域でも確認されるようになりました。

本川における魚類等の縦断的な移動経路が回復しつつある一方で、本川と水田（水路等含む）の横断的な移動経路については、水門及び排水路内の段差等が移動障害となっており、水田（水路等含む）との関連性が強いドジョウ類・ナマズ・メダカなどの確認数が極めて少ない状況にあります。

そこで、水門出口及び本川合流部における段差を解消し、近傍の水田・水路等との連続性を回復させるとともに、本川およびコンクリート３面張り水路を改良することで水際環境を多様化し、ドジョウ類・ナマズ・メダカ等の生息環境改善を図ります。

２．事業概要

■事業箇所　：　福岡県直方市ほか４地区
（事業箇所は自然再生計画の修正等で変更することがあります。）

■事業期間　：　平成２１年度～

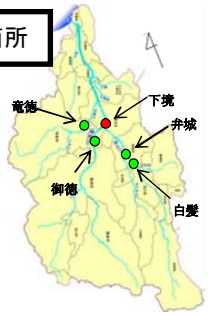
■事業内容　：　エコロジカルネットワークの再生
（排水路改良、低水護岸整備、維持管理用通路）

■平成２２年度事業費　：　約０．４億円

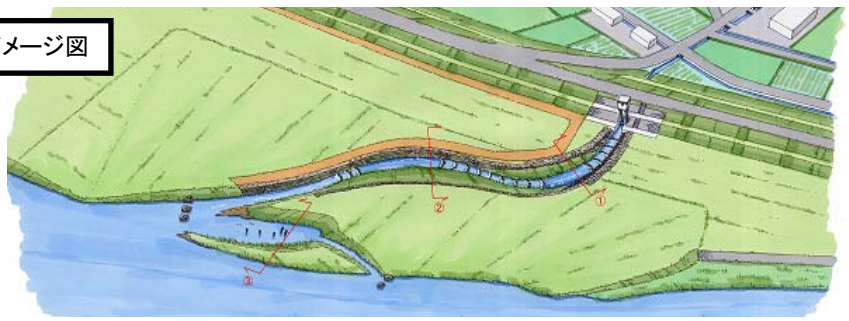
■平成２２年度実施内容　：　低水護岸整備、維持管理用通路

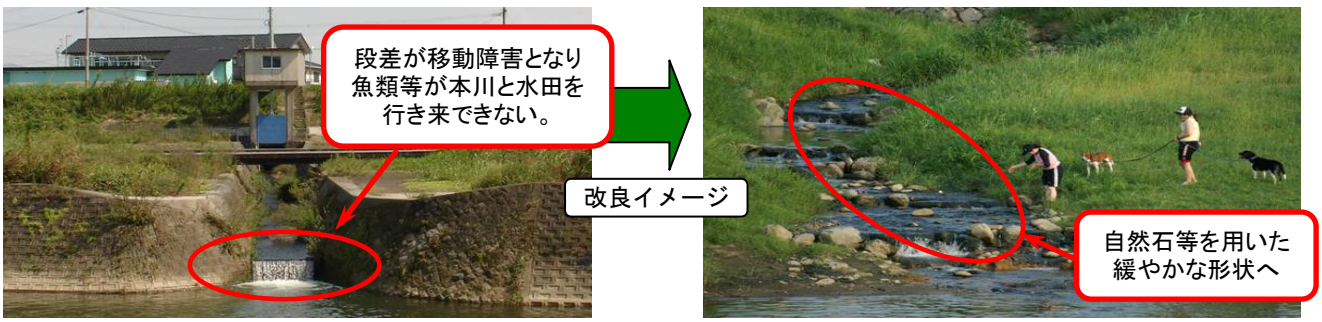
３．位置図等

事業箇所



整備イメージ図





【主要事業⑧】

総合水系環境整備事業【芦屋（あしや）地区水辺整備事業】

～出水や波浪による砂浜浸食から地域を守ります～

１．事業目的及び事業効果

遠賀川の最下流部に位置する芦屋地区においては、近年の出水や波浪の影響により、一部で河岸の浸食の進行や階段工の基礎が露出などが生じています。また、芦屋地区では芦屋橋の掛け替えに伴い、観光客の増加が見込まれており、良好な砂浜景観を取り戻し、観光客等の河川利用の安全確保が望まれています。

そこで、砂浜浸食を防止し、良好な景観を取り戻し、観光客等の河川利用の安全を確保する目的で、水制工及び砂浜浸食に対する早期対応として養浜を実施し、階段工や河川管理用通路を整備します。

２．事業概要

■事業箇所　：　福岡県遠賀郡芦屋町（山鹿地区）
■事業期間　：　平成２１年度～
■事業内容　：　芦屋町山鹿地区の出水や波浪による砂浜浸食対策
■平成２２年度事業費　：　約１．３億円
■平成２２年度実施内容　：　階段、管理用道路、水制工、養浜工

３．位置図等

浸食の状況

地域の皆さんと清掃活動を実施

芦屋橋及び周辺環境整備促進協議会

地元説明会

【主要事業⑨】

河川維持、河川管理施設更新・河川工作物関連応急対策事業

～河川管理施設の維持修繕及び老朽化した樋管等の適切な更新【安全・安心の確保】～

【河川維持】
河川管理施設の維持（堤防及び高水敷除草、塵芥処理など）、河川巡視、堤防点検及び水閘門操作委託などを実施します。

【河川管理施設更新】
河川管理施設の更新（堤防法面補修、護岸補修、排水機場や樋門樋管の修繕）などを実施します。

【河川工作物関連応急対策事業】
空洞化を起こしている樋管や函体の損傷が激しい樋管について、空洞部の間詰めや函体補修といった応急対策工事を実施します。

河川管理施設更新による対応状況
【護岸・樋管開水路補修】

河川工作物関連応急対策事業
による対応状況【樋管函体補修】